

## 平成22年度富士見市一般会計予算案の概要

### 1 総括

一昨年の金融危機に起因する経済の大幅な落ち込みを背景に、現在の経済動向は、景気の持ち直し感はあるものの、雇用環境の悪化や、物価水準の下落傾向など依然として情勢は厳しく、国の予算においては大幅な税収減となっています。

こうした状況の下、本市においては、市税が前年度当初予算に比べ減となり、一層厳しい財政状況になると推測していますが、平成22年度当初予算は、誰もが暮らしやすく魅力あるまちづくりを進めるため、次世代育成施策の充実など市民の安心・安全な生活の確保を第一優先に、事業の選択と集中により編成しました。

### 2 予算規模

一般会計 276億3,411万5千円

前年度比24億113万9千円(9.5%)の増

※主に子ども手当(19億2,400万円)の新設に伴う増です。

・当初予算額の推移

(単位：千円)

	H18	H19	H20	H21	H22
予算額	24,373,298	24,440,896	26,611,475	25,232,976	27,634,115
増減	△1,564,711	67,598	2,170,579	△1,378,499	2,401,139
伸び率	△6.0	0.3	8.9	△5.2	9.5

### 3 歳入歳出予算の概況

#### (1) 主な歳入の状況

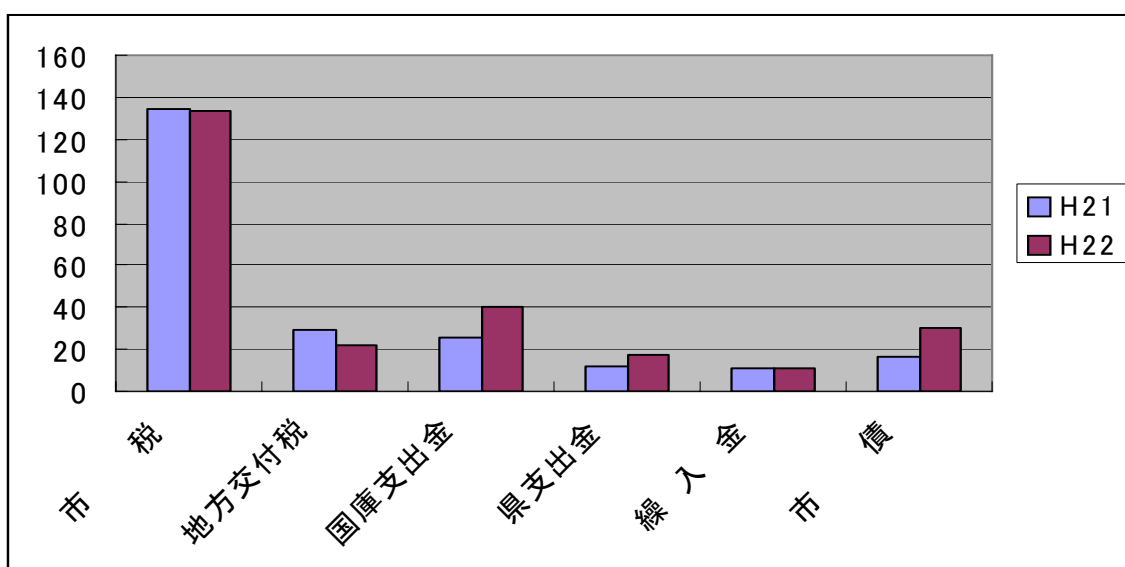
・前年度当初予算との比較

(単位：千円、%)

	H21 予算額	H22		
		予算額	増減額	伸び率
市 税	13,471,899	13,314,374	△157,525	△1.2
地方交付税	2,920,000	2,150,000	△770,000	△26.4
国庫支出金	2,558,747	4,030,011	1,471,264	57.5
県支出金	1,186,861	1,691,763	504,902	42.5
繰入金	1,140,647	1,129,880	△10,767	△0.9
市 債	1,629,800	2,973,730	1,343,930	82.5

・前年度当初予算との比較

(単位：億円)



#### ①市税 133億1,437万4千円

前年度比1億5,752万5千円(1.2%)の減

主に、景気後退等による個人市民税2億9,630万9千円(4.6%)の減によるものです。

②地方交付税 21 億 5,000 万円

前年度比 7 億 7,000 万円 (26.4%) の減

前年度比で減となっている分は、臨時財政対策債 (20 億円) でまかないます。臨時財政対策債とは、国の地方交付税の財源不足を穴埋めするため、市がする借金のことですが、返済費用は後年度の地方交付税で工面されます。

これにより、普通交付税と臨時財政対策債の合計は 40 億円となり、平成 21 年度の普通交付税と臨時財政対策債の総額とほぼ同額となります。

③国庫支出金 40 億 3,001 万 1 千円

前年度比 14 億 7,126 万 4 千円 (57.5%) の増

主に、子ども手当の新設 15 億 988 万 6 千円の増によるものです。

④県支出金 16 億 9,176 万 3 千円

前年度比 5 億 490 万 2 千円 (42.5%) の増

主に、保育所や放課後児童クラブの整備などに対する補助金 (子育て支援特別対策事業費補助金) 2 億 2,569 万 4 千円の増、国勢調査の実施に対する委託金 (国勢調査委託金) 5,721 万 8 千円の増などによるものです。

⑤繰入金 11 億 2,988 万円

前年度比 1,076 万 7 千円 (0.9%) の減

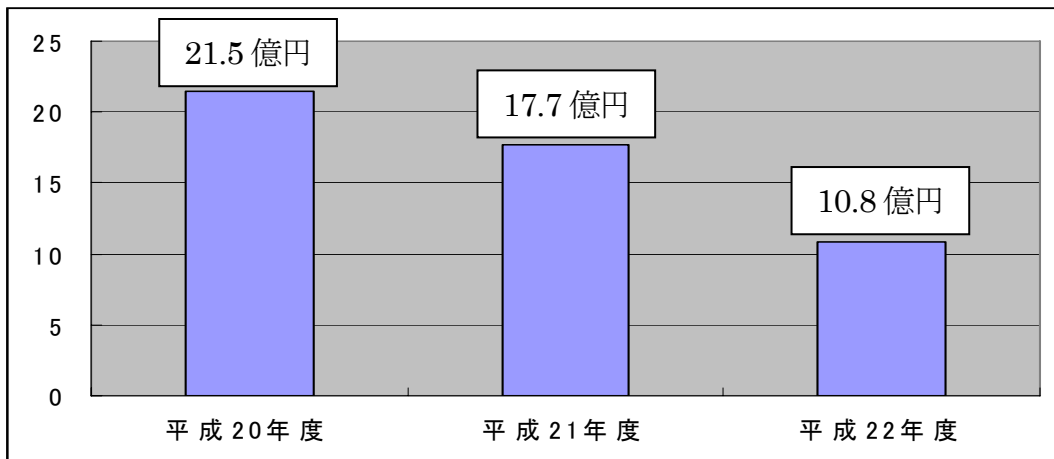
老人保健制度の終了により老人保健特別会計から 1 億 8 千万円、歳入不足を補うため財政調整基金から 9 億 4,988 万円を繰入れます。

・ 財政調整基金の状況及び見込 (単位：千円)

	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
積立額	317,351	500,676	259,892
取崩額	500,000	878,368	949,880
年度末残高	2,147,608	1,769,916	1,079,928

・年度末残高の推移

(単位：億円)



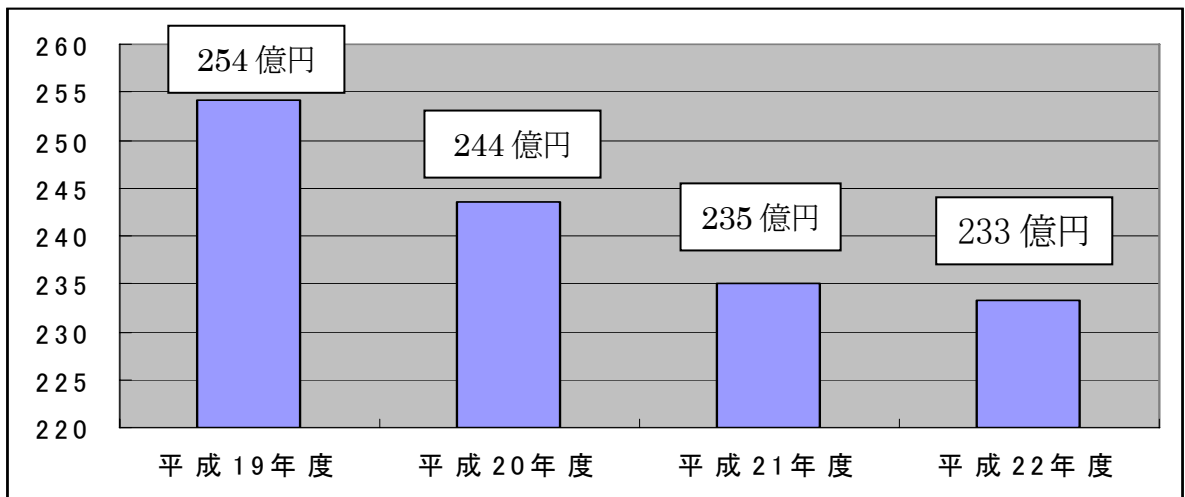
⑥市債（借金） 29 億 7,373 万円

前年度比 13 億 4,393 万円 (82.5%) の増

主に、地方交付税の不足分を補うための借金（臨時財政対策債）6 億 2,700 万円の増、市民文化会館建設の借金の借り換え（借換債）5 億 6,793 万円の増、つるせ台公園整備のための借金（つるせ台公園整備事業債）2 億 830 万円の増などによるものです。

・地方債残高の推移 (21 年度以降は見込み)

(単位：千円)



## (2) 主な歳出の状況（主要な取組み）

### ○総合政策関係

- ①市ホームページのリニューアル（秘書広報課 9,870 千円）  
全面改訂し、見やすく、役に立つホームページをつくります
- ②第5次基本構想の策定（政策財務課 6,248 千円）  
平成23年度から10年間の市の総合計画をつくります
- ③第5次行財政改革大綱の策定（政策財務課）  
平成23年度を初年度とする行財政改革の指針をつくります

### ○市民生活関係

- ①市民相談体制の充実（市民相談室）  
不動産取引に関する相談を新たに設けます

### ○健康福祉関係

- ①子ども医療費の助成対象の拡大（子育て支援課 253,159 千円）  
「通院が就学前、入院が小学校修了まで」  
→「入通院とも中学校修了まで」に10月から拡大します
- ②子ども手当の支給（子育て支援課 1,924,000 千円）  
中学校修了までの子どもを対象に13,000円/月を10月から支給します
- ③民間保育所建設に対する助成（子育て支援課 307,201 千円）  
(仮称)鶴馬保育園(鶴馬1丁目地内)と(仮称)富士見すくすく保育園(山室2丁目地内)の建設に対する補助を行います（これにより保育所定員150名増）
- ④放課後児童クラブの整備（子育て支援課 49,900 千円）  
みずほ台小と関沢小に第2放課後児童クラブを整備します
- ⑤家庭保育室利用者の負担軽減（子育て支援課 3,280 千円）  
乳幼児1人あたり月額5,000円の補助を開始します
- ⑥妊婦健康診査における超音波検査の助成拡大（健康増進センター 23,408 千円）  
1回分→4回分の助成に拡充します

- ⑦重度心身障害者の訪問入浴サービスの開始(障害福祉課 1,200 千円)  
訪問型の入浴サービスの提供を開始します
- ⑧オストメイト対応トイレの整備 (障害福祉課 2,600 千円)  
市公共施設 2 か所で、人工肛門造設者 (オストメイト) 対応型のトイレを整備します
- ⑨高齢者のための地域密着型介護サービス施設の整備(高齢者福祉課)  
民間事業者による小規模多機能型居宅介護サービス施設等の整備に対する補助を行います (191,800 千円 (特別会計))  
※地域密着型: 住み慣れた自宅や地域での生活の継続を目指すもの  
※小規模多機能型居宅介護: 1 事業所あたり 25 名以下の定員で、介護が必要となった高齢者を対象とし、「通い」を中心に「訪問」「泊まり」の 3 つのサービス形態が一体となったもの。「通い」の定員は概ね 15 名以下

## ○まちづくり環境・建設関係

- ①(仮称)つるせ台公園の整備 (まちづくり推進課 402,034 千円)  
平成 23 年度オープンを目指し、鶴瀬第 2 団地建替え事業地区に公園をつくります
- ②市民オーナー制度による桜の植栽 (まちづくり推進課 972 千円)  
市民に寄附を募り、山崎公園(大字水子地内) 付近に桜を植えます
- ③自主防災組織育成補助の拡充 (安心安全課 1,400 千円)  
通常補助金とは別に、新たに組織化する際の初期費用に対する補助を行います
- ④災害時における要援護者支援事業の実施 (安心安全課、福祉課 予算ゼロ)  
高齢者や障害者などの要援護者情報を把握し、災害時の支援体制の確立を目指します
- ⑤消防団車庫の建替え (安心安全課 7,139 千円)  
消防団第 2 分団車庫 (諏訪小のそば) を新築します。また、消防自動車を買い替えます。

- ⑥富士見市をきれいにする条例に基づく美化推進計画の策定(環境課)  
市内3駅周辺を路上喫煙禁止区域と美化推進重点区域に指定する  
予定です

## ○教育関係

- ①小中学校の耐震補強工事の実施(教育総務課)  
平成22年度で市内全小中学校の校舎・体育館の耐震化が完了し  
ます(81,107千円)  
小・中・特別支援学校のトイレの洋式化を進めます(9,100千円)
- ②学力テスト補助の実施(学校教育課1,601千円)  
中学校3年生を対象とする学力テスト代の補助をはじめます
- ③学校給食の食器の更新(学校給食センター12,907千円)  
ポリエチレンナフタレート食器へ変更します
- ④教育相談体制等の充実(学校教育課、教育相談研究室)  
教育上特別な支援の必要な児童生徒の介助等を行う「すこやか支  
援員」を増員します。また、特別支援教育士(臨床心理士)による  
特別支援教育相談の回数を増やします
- ⑤地域子ども教室の実施(生涯学習課3,999千円)  
平成22年度をもって全小学校区で実施することになります
- ⑥市民総合体育館や富士見ガーデンビーチの改修(生涯学習課60,901  
千円)  
市民総合体育館の大規模改修工事やガーデンビーチの塗装修繕を  
行います
- ⑦中央図書館・ふじみ野分館への指定管理者制度の導入(生涯学習課  
183,318千円)  
効率的な運営とサービス向上の目指し、4月から民間企業による  
管理・運営を開始します。

## ○行財政改革の推進

### ①交際費の削減 △365 千円

特に市長交際費の大幅削減は市長公約であるため、20 年度予算では 2,618 千円だったものを、22 年度予算では 1,350 千円にまで削減します。

### ②職員数の削減 △29 人

これにより、22 年度の職員数は 584 人となります。

一般会計の職員給与費は、前年度比 230,261 千円減の 5,146,632 千円です。

### ③公用車（集中管理車）の削減 △1 台

これにより、22 年 4 月の公用車数は 32 台となります。22 年度中にさらに 2 台廃車します。

### ④事業仕分けの反映 △25,458 千円

4 事業廃止、4 事業改善による削減です。

### ⑤道路照明灯・防犯灯電気料の一括前払いによる削減 △760 千円

支払いの合理化による削減です。